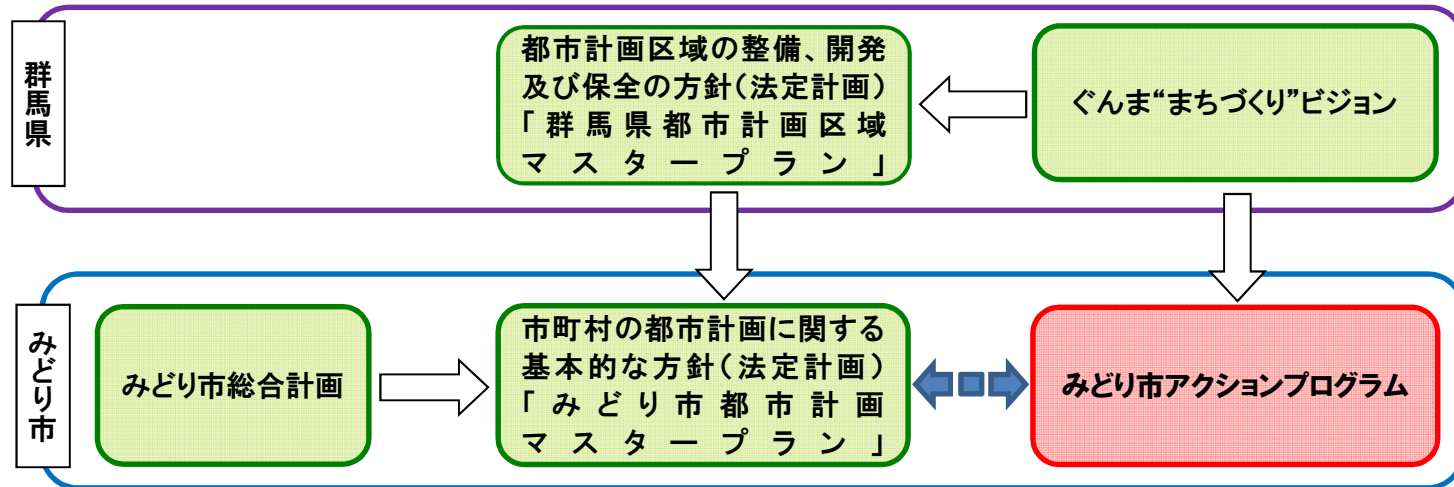


# ぐんま“まちづくり”ビジョン みどり市アクションプログラム【概要版】

## 1. ぐんま“まちづくり”ビジョンみどり市アクションプログラムについて

### アクションプログラムの位置づけ



群馬県が平成24年9月に策定した「ぐんま“まちづくり”ビジョン」により、これからの県内におけるまちづくりの取組方針が明らかにされました。

みどり市では、この「ぐんま“まちづくり”ビジョン」を受けて、人口減少・超高齢社会といった、都市を取り巻く環境の変化に対応するため本アクションプログラムを策定し、具体的なまちづくりの取組を市民と共有し、着実に進めます。

## 2. みどり市に今後生じる望ましくない状況

### 将来のみどり市民のくらしや行政運営に生じる問題

人口減少・超高齢社会をはじめ、都市の現状や将来予測から心配な社会情勢が今後進行することで、市民のくらしや行政運営に次のような望ましくない状況が生じると考えられます。

#### 市民のくらしにおける問題

- (1)生活が不便になる
- (2)地域内の自助・共助ができなくなる
- (3)生活環境が悪化する
- (4)雇用が減る

#### 行政運営における問題

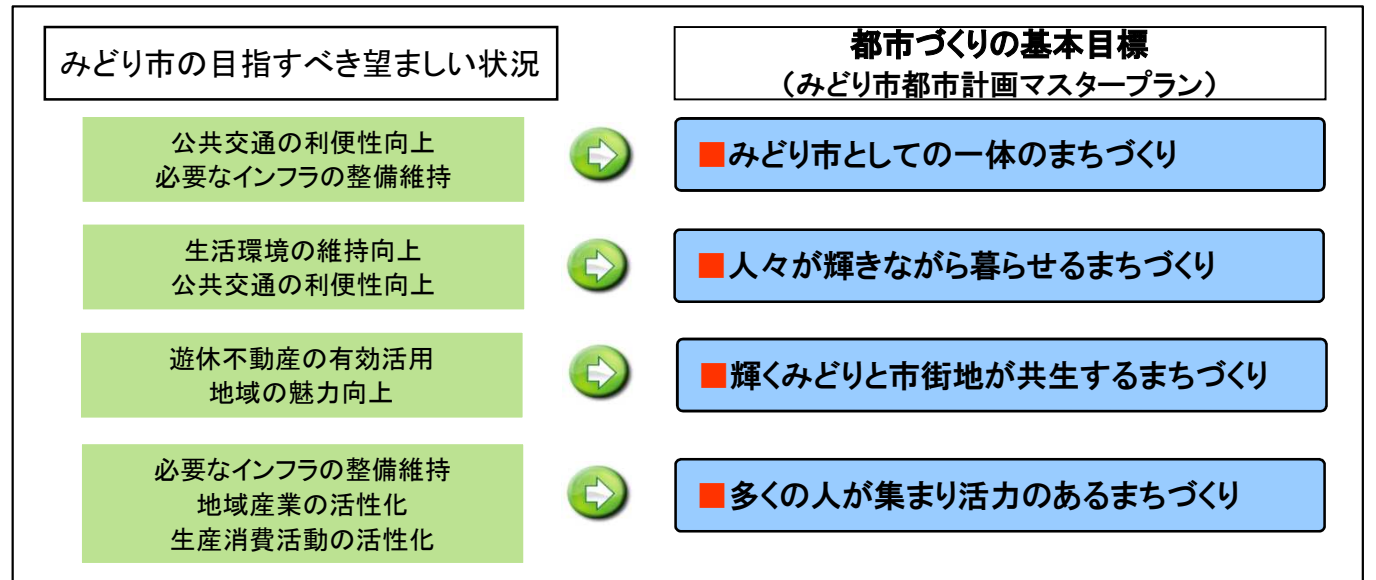
- (1)行政コストが増える
- (2)交流人口減少による税収減
- (3)流入人口減少による税収減
- (4)居住人口減少による税収減

#### みどり市に今後生じる望ましくない状況

- ・生活環境の悪化
- ・交通弱者の増加
- ・インフラの機能低下
- ・空き家・空地の増加
- ・企業や商業施設の撤退
- ・地域の魅力低下

## 3. 「まちの将来像」の実現に向けた都市づくりの基本目標

「みどり市に今後生じる望ましくない状況」を回避し、望ましい状況への転換を図るため、「都市づくりの基本目標」を以下のとおり定めます。  
これにより、本市の最上位計画である「みどり市総合計画」に掲げる将来のまちの姿を実現します。



みどり市が目指す将来のまちの姿  
(みどり市総合計画)

輝くひと 輝くみどり 豊かな生活創造都市

## 4. みどり市の基本方針と取組内容

### 都市づくりの基本目標を達成するための基本方針

みどり市は、特徴の異なる3町村が合併しており、歴史・文化の違いや地形的条件によってそれぞれの地域の魅力や現在抱えている問題も異なります。そのため、「都市づくりの基本目標」を達成するための基本方針として、「ぐんま“まちづくり”ビジョン」に掲げられている基本方針から、以下の7つを選択しました。

- 基本方針1 人口減少を前提とした土地利用計画にあわせた公共交通や都市施設の再構築
- 基本方針2 空き地・既存施設の利活用や優遇措置の導入による街なかへの転居の促進や集客施設の誘致
- 基本方針3 地域の誇れる個性・景観・くらしを支える機能を整えた魅力的な「まちのまとまり」づくり
- 基本方針4 都市間移動も都市内移動も高い利便性の確保
- 基本方針5 災害時でも安全・安心な都市の防災機能の強化
- 基本方針6 ぐんまの強みを活かした産業の誘致や新エネルギーによる産業創出環境づくり
- 基本方針7 家計にも環境にも優しい付加価値の高い効率的なまちづくり



## 5. 重点プロジェクト

みどり市が目指すべき望ましいまちを実現するにあたっては、複数の関連する事業を一つのプロジェクトとして実施することで、個別に実施するよりも大きな効果を発現することが期待できます。

そのため、特に本計画策定後おおむね5年以内に効果発現が期待される複数の関連事業を一つのプロジェクトとして重点的に取り組みます。

### Project 1. 安全安心で快適に過ごせる魅力あるまちづくり

■整備方針 交通結節機能の強化及び雨水排水施設整備により、安全性・快適性の向上を図る

笠懸町阿左美地区は桐生市及び太田市に隣接しており、他市への移動に便利なことから、宅地化が進み、現在も人口増加が続いています。また、阿左美沼や荒神山などの自然環境にも恵まれており、自然と市街地が共生した地区となっています。

そこで、阿左美地区における公共交通や防災に関する生活環境を向上することによって、生活拠点としてまちの魅力を高めます。

#### 目的1: 駅周辺整備による利便性・安全性の向上と交通結節機能の強化

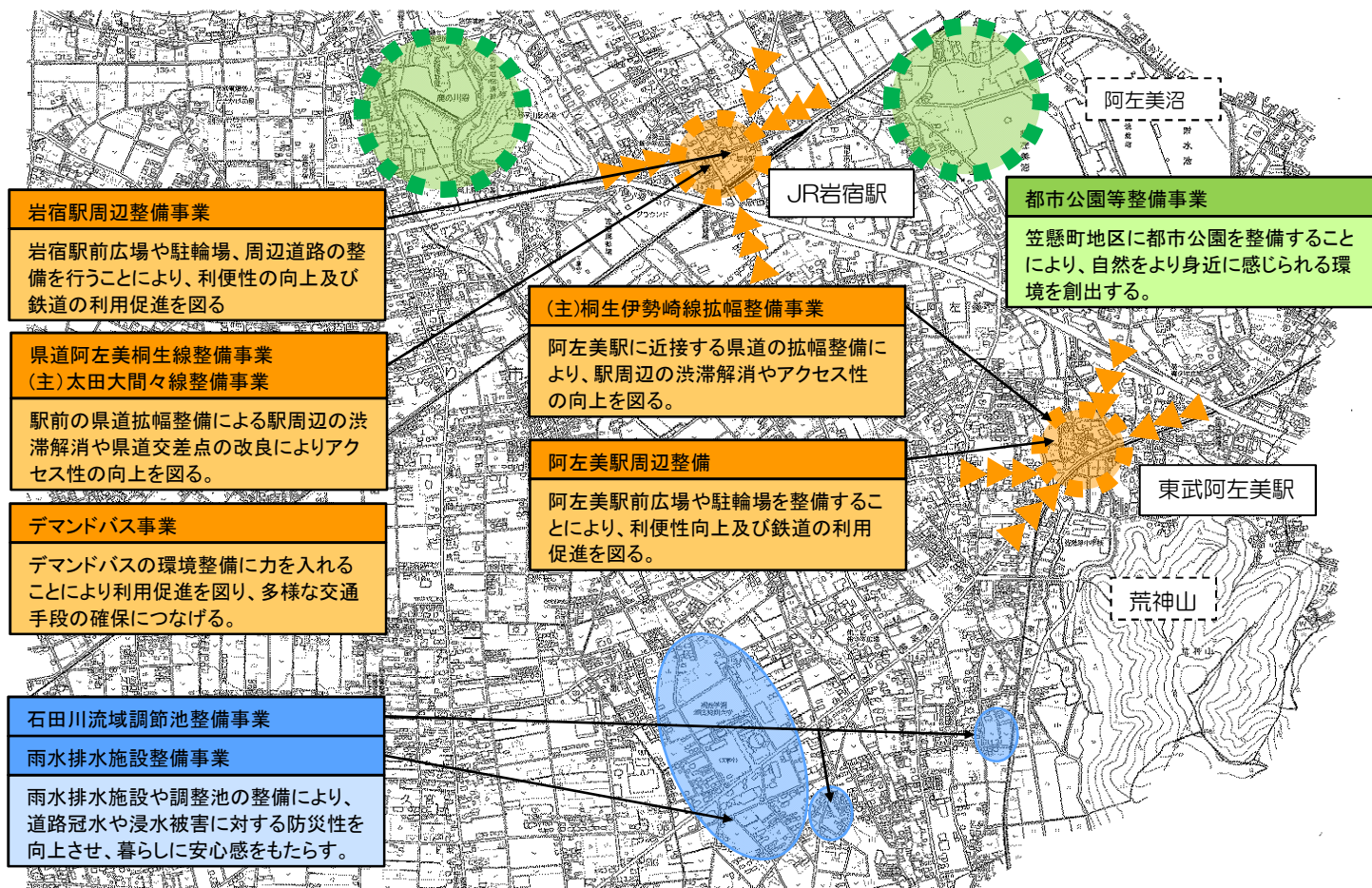
JR岩宿駅と東武阿左美駅の駅前広場や駐輪場等の整備により、公共交通の利便性の向上を図ります。また、駅周辺の道路整備等によりアクセス性を向上させ、デマンドバスなど他の交通機関との連携強化を図り、交通結節点の機能を強化します。

#### 目的2: 安心して暮らせる生活環境の整備

雨水排水施設の整備による冠水被害の防止や、都市公園等の整備による災害時の避難場所の確保など防災機能強化に努め、安心に過ごせるまちづくりを目指します。

#### 目的3: 輝くみどりを身近に感じられる環境の整備

都市公園の整備等により、阿左美沼や鹿の川沼などの自然と触れ合える環境の充実を図り、輝くみどりと市街地が共生するまちづくりを進めます。



### ■プロジェクトの策定基準

笠懸地区では、生産年齢人口が増えており、それを適切に誘導するように駅を核としたまちのまとまりづくりの必要性が急務であること、また、大間々地区では、旧市街地からの人口流出が続いていることから、地域の自然・歴史・文化などの地域資源を生かした交流まちづくりが急務であるため、それらに関連する事業を一つのプロジェクトとして策定します。

### Project 2. 地域資源を活用した観光まちづくり

■整備方針 観光案内所等の環境整備等により、観光資源の魅力向上を図る

大間々町は、あかがね街道の宿場町として古くから栄えたまちで、ながめ余興場や高津戸溪谷など豊かな観光資源が存在しており、観光資源を活かしたまちづくりにより、多くの人が大間々町を訪れることで、まちに活力が生まれることが望めます。

そこで、観光施設の整備などによる既存の観光資源の魅力向上や、交通手段の充実による周遊性の向上により、多様な観光客のニーズに応えることによって、交流人口の増加を目指します。

#### 目的1: 観光機能の充実

大間々駅前観光案内所の機能充実や既存観光施設の改修を行うことにより、観光資源の魅力向上を図り、また案内看板の整備など案内事業の充実により、交流人口の増加を目指します。

#### 目的2: 多様な移動手段の確保

駅から目的地までの末端交通の手段としてエコレンタサイクル事業等の機能充実を図ります。またデマンドバスの環境整備等により、旅行者の目的や距離などに応じた移動手段を確保し、地区内での周遊性の向上を図ります。

#### 目的3: 歩行環境の整備

大間々地区の豊かな自然や歴史ある街並みをまち歩きをしながら楽しめるように、遊歩道や散策道の整備を行うなど、歩行環境の整備を検討します。

